

1. 地域別の状況について

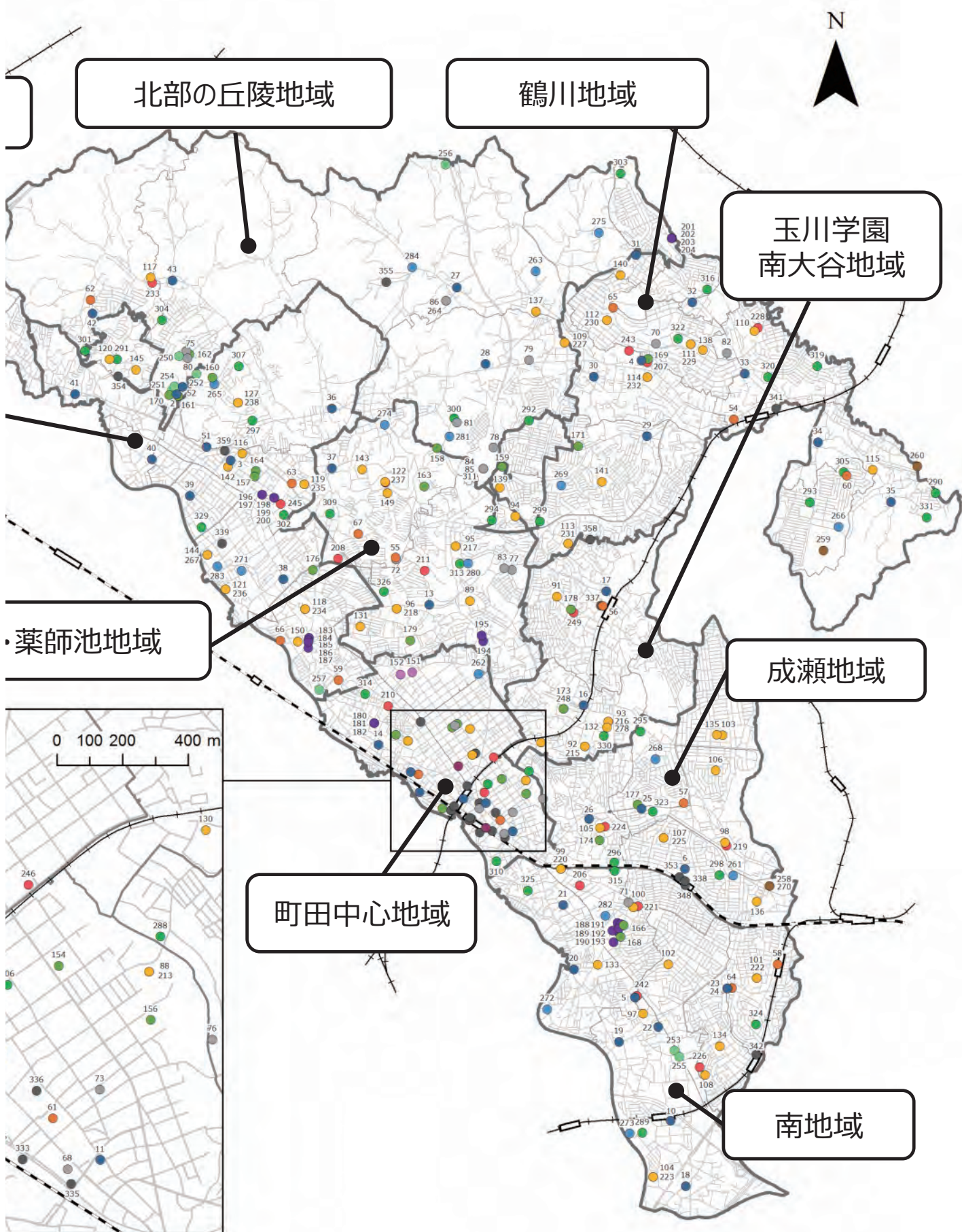
町田市は丘陵部・台地部・低地部の 3 段からなる地形の影響を受けながら、明治・大正時代の「農村・宿場町」から戦後の「商都・住宅地」の時代へと都市形成が進んできた経緯などから、地域毎に状況が大きく異なっています。そのため、公共施設の再編にあたっては、それぞれの施設が配置されている地域の状況を考慮する必要があります。

そこで、『都市計画マスタープラン』に準じて、市の地域を大きく 10 の地域に分け、人口や土地利用の状況とともに施設の配置状況を整理しました。

ただし、今後の市の人口状況や財政状況を考えると、従来のように一つの地域単位で様々な施設を新設することは難しく、交通アクセスを踏まえた全市対応の施設整備を行っていく必要があります。また、公共施設の利用者は施設が配置されている地域の住民に限らず、住民の生活圏も地域と必ずしも一致するものでないことから、施設再編の検討は地域単位に制約されないものとします。

施設配置図と10の地域分け



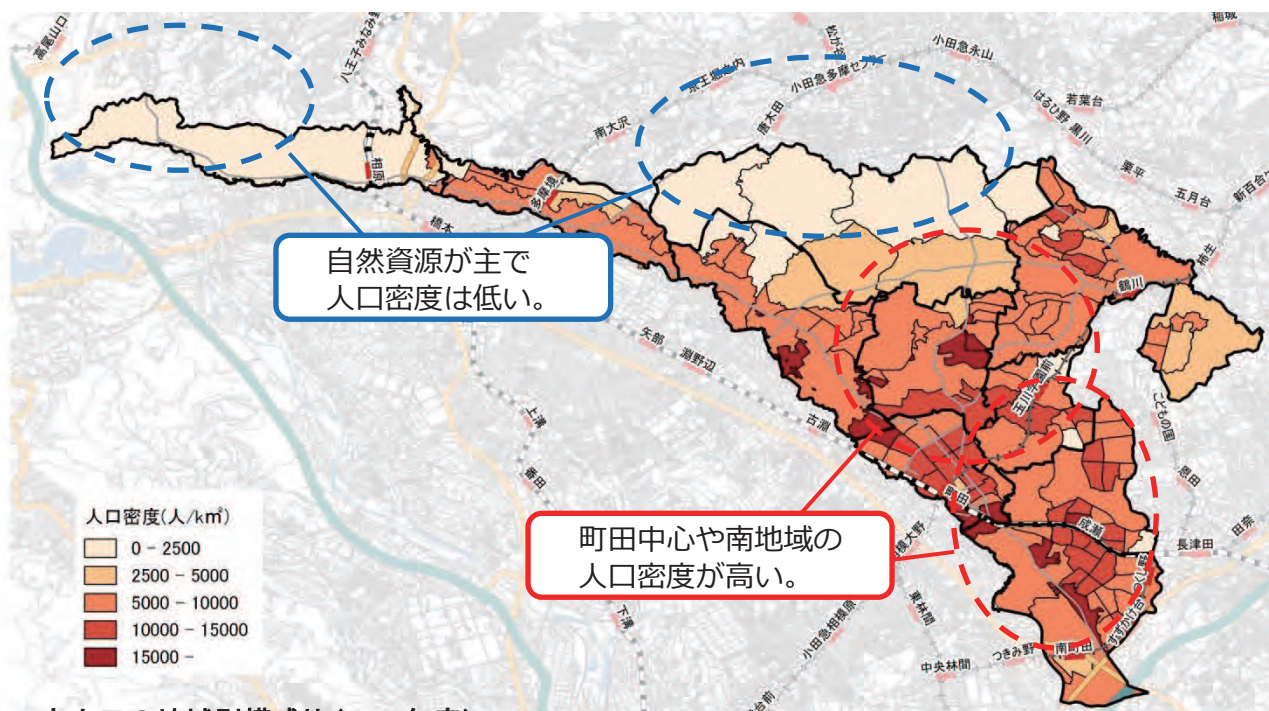


出典：「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」（2015 年）

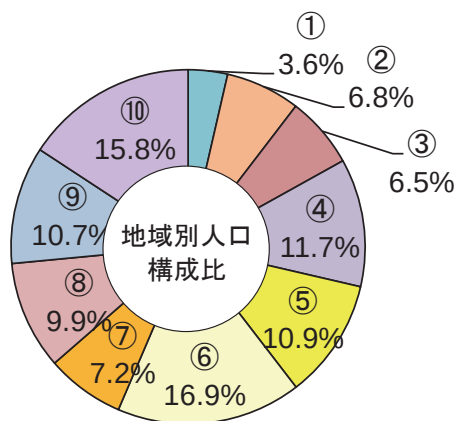
2. 人口の状況

(1) 概況

市の人口のうち、鶴川、南地域の人口がそれぞれ 15%以上を占めている。人口密度でも、市の南部にかけて人口が集中している。

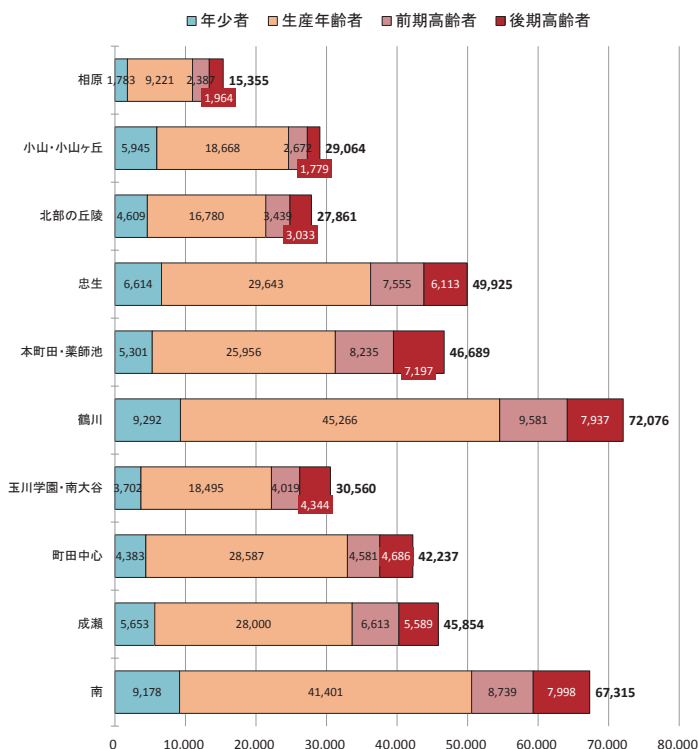


市人口の地域別構成比(2016年度)



地域	人口	割合(%)
① 相原	15,355	3.6
② 小山・小山ヶ丘	29,064	6.8
③ 北部の丘陵	27,861	6.5
④ 忠生	49,925	11.7
⑤ 本町田・薬師池	46,689	10.9
⑥ 鶴川	72,076	16.9
⑦ 玉川学園・南大谷	30,560	7.2
⑧ 町田中心	42,237	9.9
⑨ 成瀬	45,854	10.7
⑩ 南	67,315	15.8
市全体	426,936	100.0

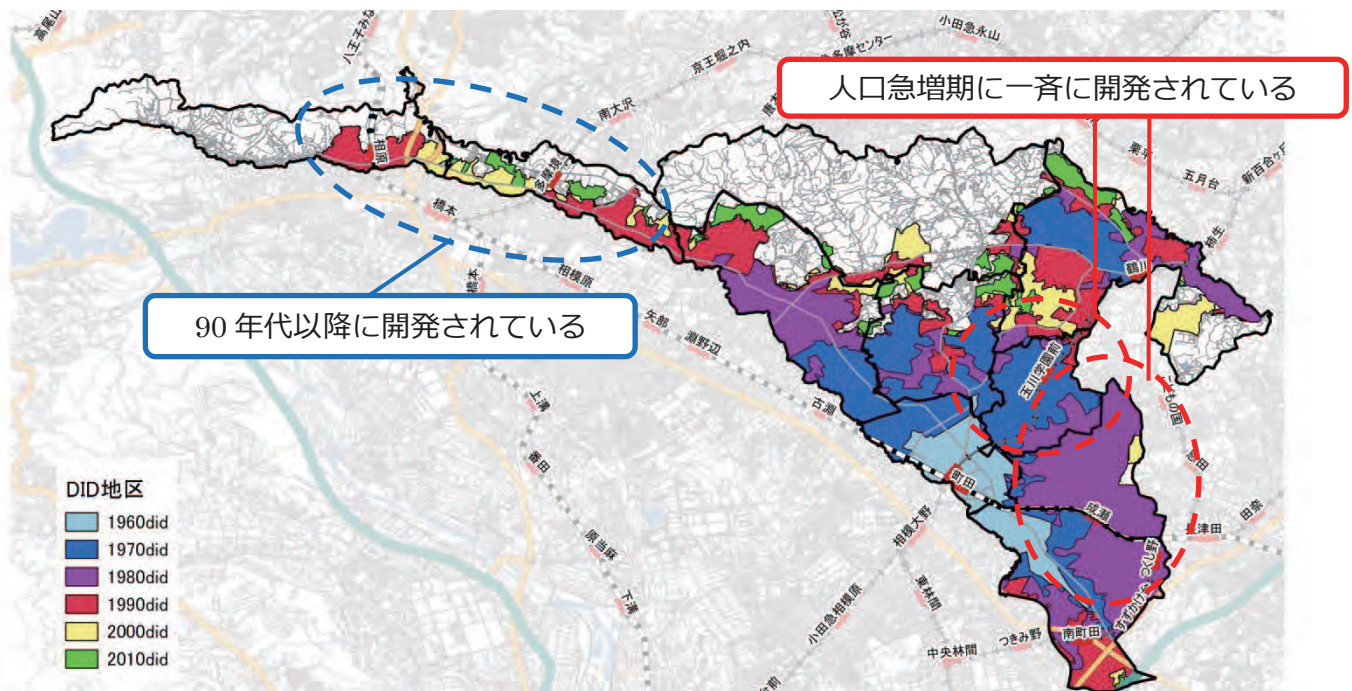
[地域別人口(人)]



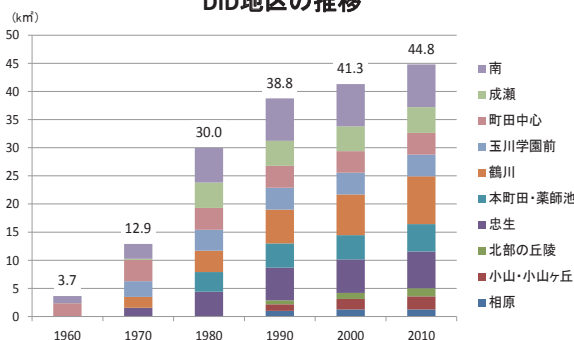
- ✓ 東西に長い市域であるが、多くの人口は市の南・東部に居住しており、市民利用の公共施設の多くが市の南・東部に配置されている。

(2) 宅地開発の変遷

町田駅周辺から広がるように 1960 年代に玉川学園、本町田・薬師池地域が、1970 年代に成瀬地域が一斉に開発されている。また、相原、小山・小山ヶ丘、鶴川地域は比較的近年に宅地開発が進んでいる。



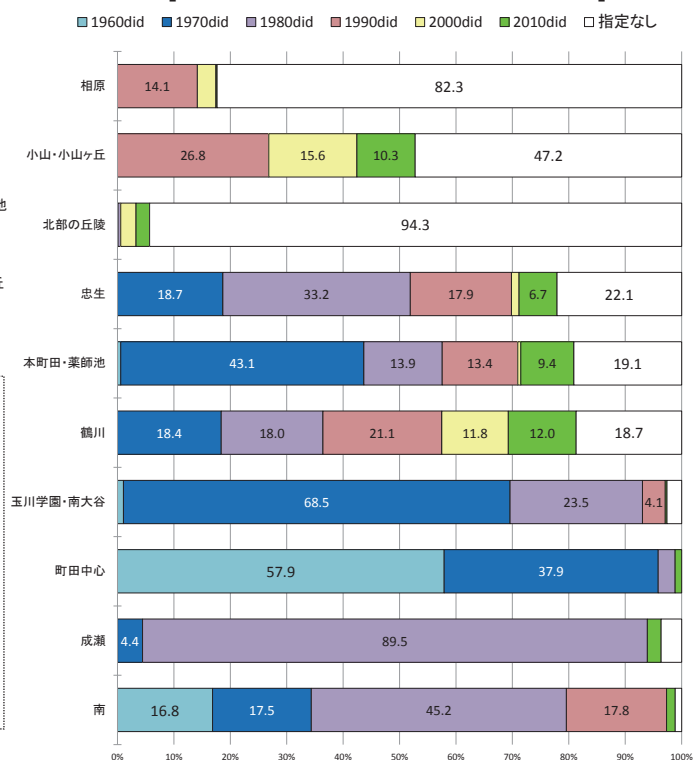
DID地区の推移



DID 地区（人口集中地区）

人口密度が 4,000 人/平方キロメートル以上の地区が隣接し、合計人口が 5,000 人以上となる地区。
(例)本ページ中の 1970did は、1960 年時点で DID 地区ではなく 1970 年時点で DID 地区となっていたものを指し、1960 年代に一斉に人口流入・宅地開発が進んだ地区として考える。

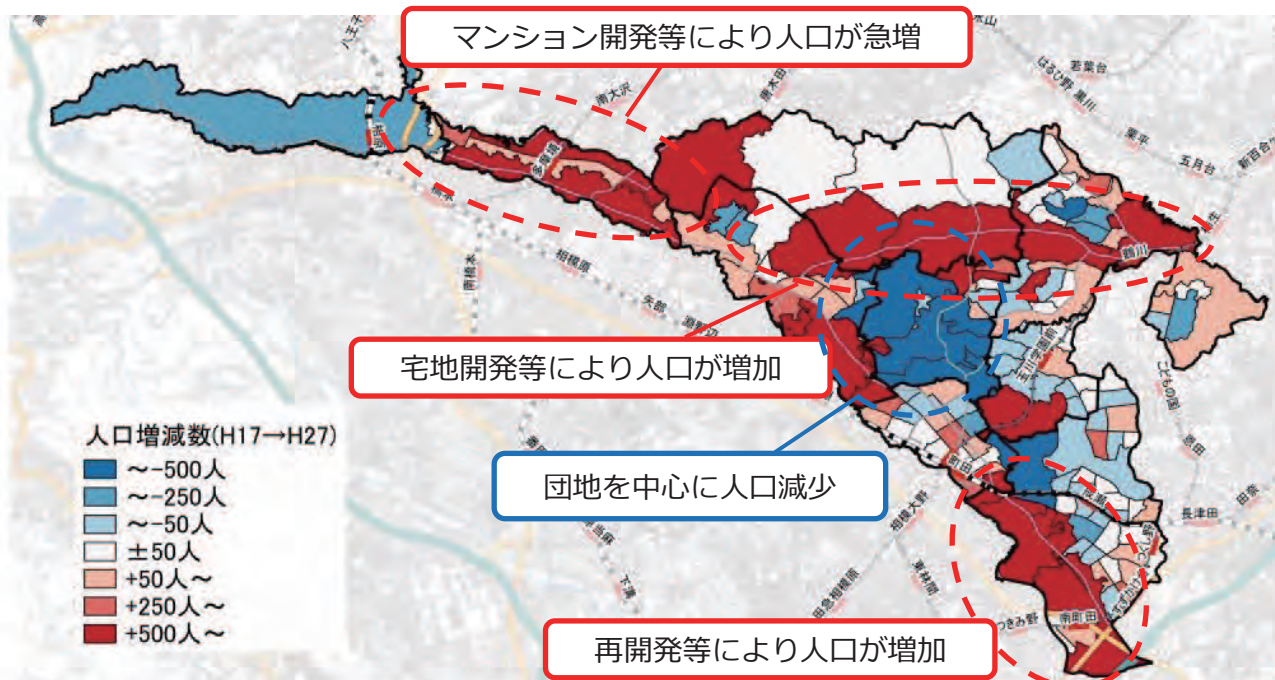
[地域面積における DID 地区の割合 (%)]



- ✓ 大規模な住宅開発や団地の建設により、地域毎に人口集積が一時期に集中している。
- ✓ それらの地域では、人口構成に偏りが生じているほか、公共施設も開発に合わせて建築されている場合が多く、施設の更新時期も一斉に迎えることが考えられる。

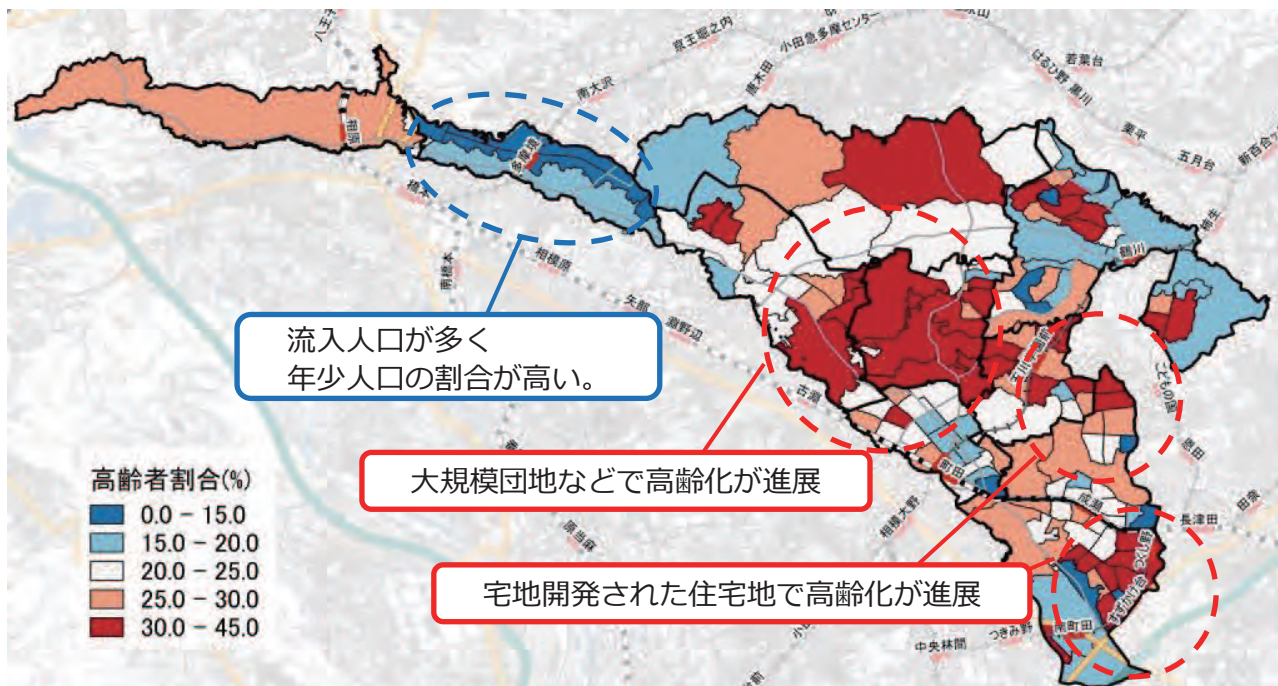
(3) 人口変化の状況

2005 年～2015 年にかけての人口増減数を見ると、小山・小山ヶ丘地域で大幅に増加しており、北部の丘陵地域や南地域などでも宅地開発により人口が増加している。一方で、本町田・薬師池地域などの団地が中心となる地域などでの人口減が顕著となっている。



(4) 人口構成の状況

本町田・薬師池地域は高齢化率が 30%を超えているなど、古からの住宅地や団地で高齢化が進展している一方、小山・小山ヶ丘地域は人口流入により年少人口比率が 20%を超えている。

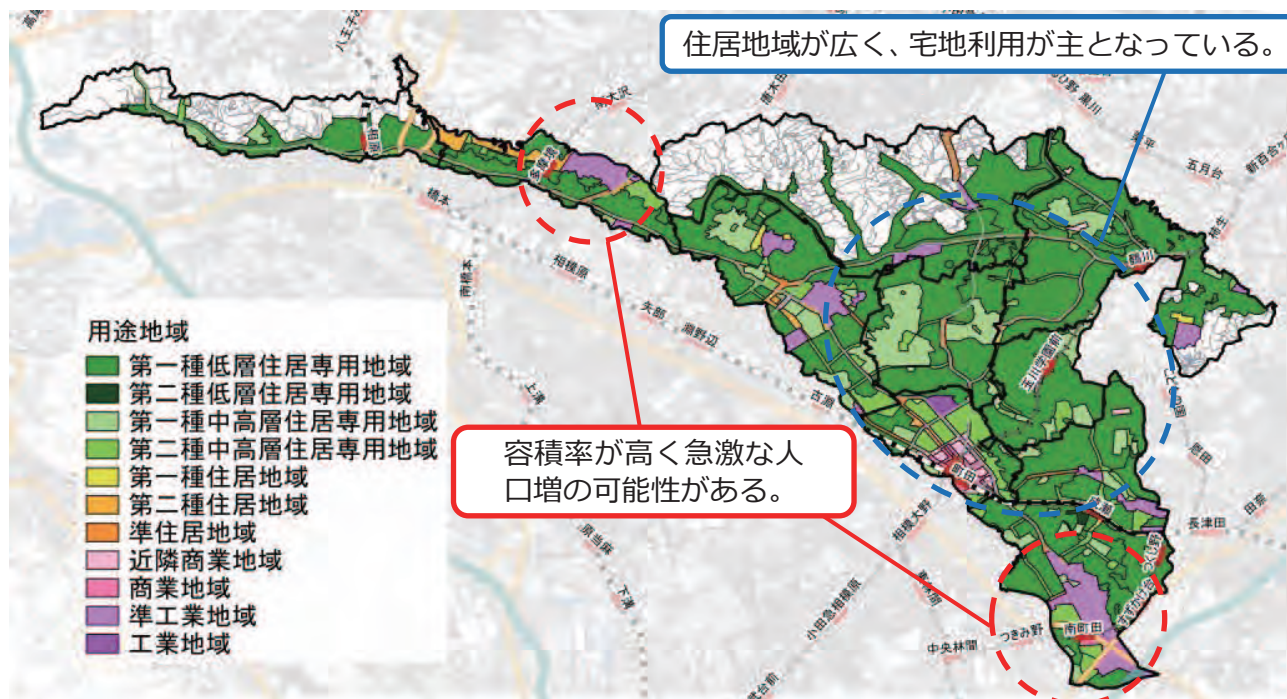


- ✓ 旧来の住宅地や団地の集積、近年の宅地開発の影響により、地域により人口構成、居住世代に大きな違いがみられ、必要となる公共施設のニーズに大きく差が生じている。

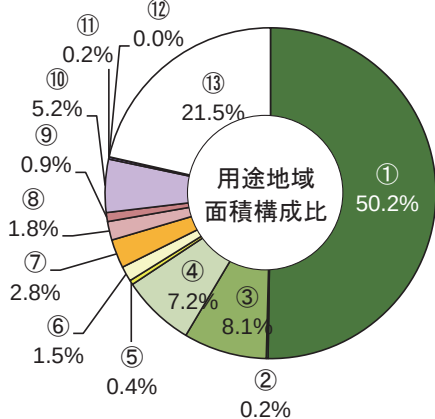
3. 土地利用の状況

(1) 用途地域の状況

市域の半分は第一種低層住居専用地域になっており、その他の住居系地域と合わせて約 7 割を占めている。小山・小山ヶ丘、南地域は準工業地域、町田中心地域は商業系地域といった容積率が高い地域があるため、今後局地的に人口が急激に変動する可能性がある。

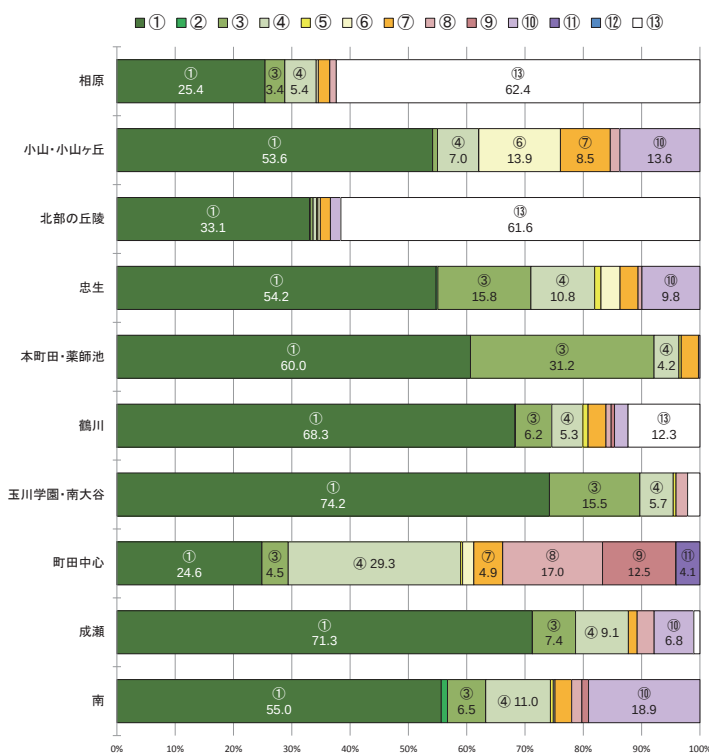


市域の用途地域別面積



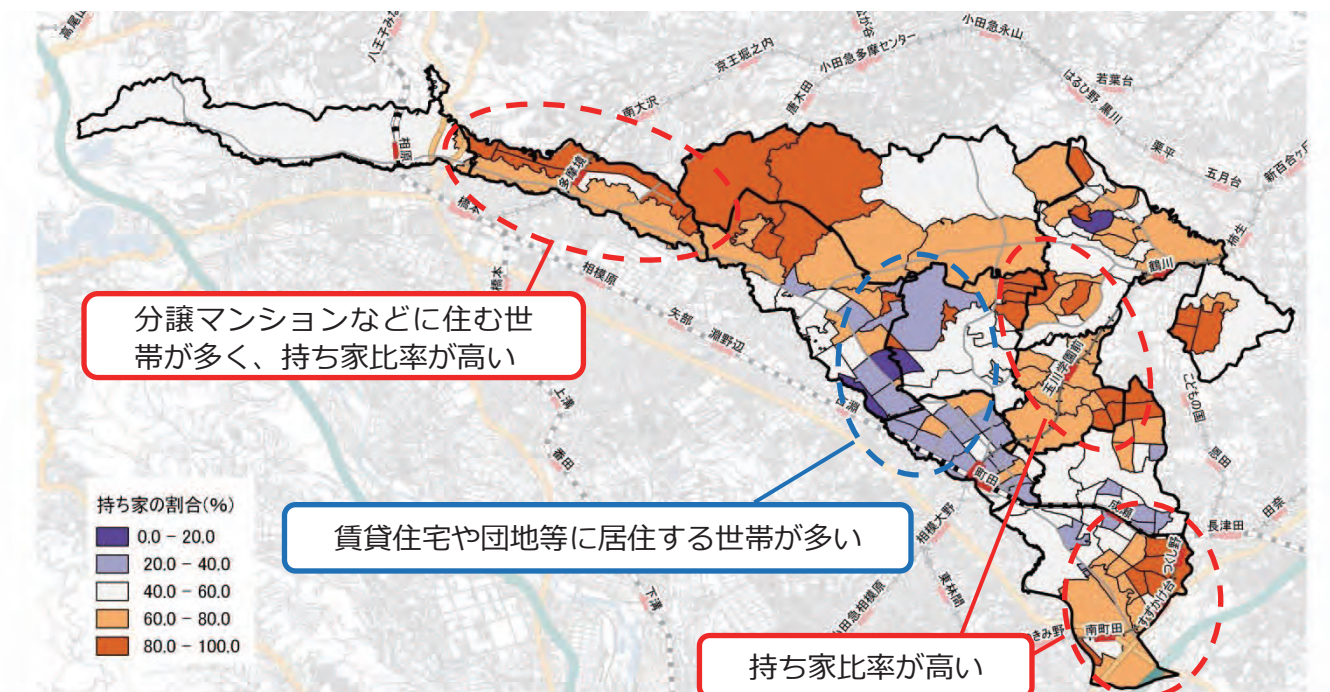
区分	面積(km ²)	割合(%)
① 第一種低層住居専用地域	36.1	50.2
② 第二種低層住居専用地域	0.1	0.2
③ 第一種中高層住居専用地域	5.8	8.1
④ 第二種中高層住居専用地域	5.1	7.2
⑤ 第一種住居地域	0.3	0.4
⑥ 第二種住居地域	1.1	1.5
⑦ 準住居地域	2.0	2.8
⑧ 近隣商業地域	1.3	1.8
⑨ 商業地域	0.6	0.9
⑩ 準工業地域	3.7	5.2
⑪ 工業地域	0.2	0.2
⑫ 指定なし	0.0	0.0
⑬ 指定なし	15.4	21.5
市域全体	71.8	100.0

[地域面積における用途地域の割合(%)]

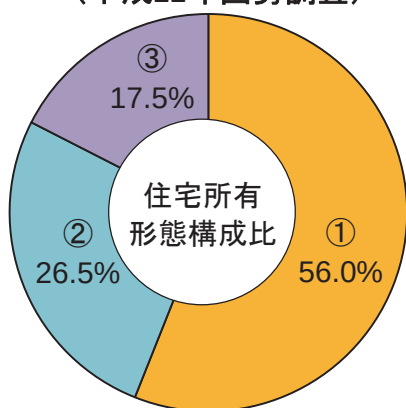


(2) 住宅所有の状況

成瀬台やつくし野では持ち家世帯の割合が高いため、長期的に居住する世帯が多く、地域への愛着が高い傾向があることが予想される。

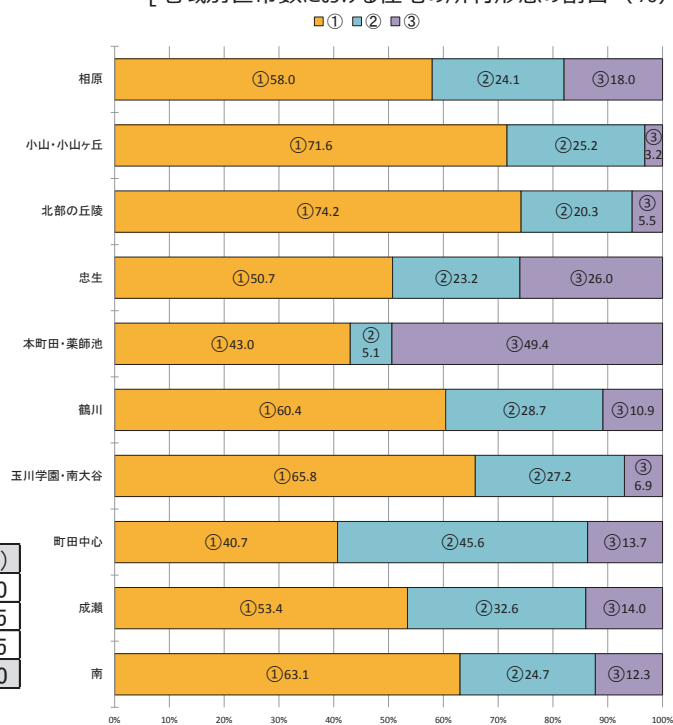


市居住世帯の住宅の所有割合
(平成22年国勢調査)



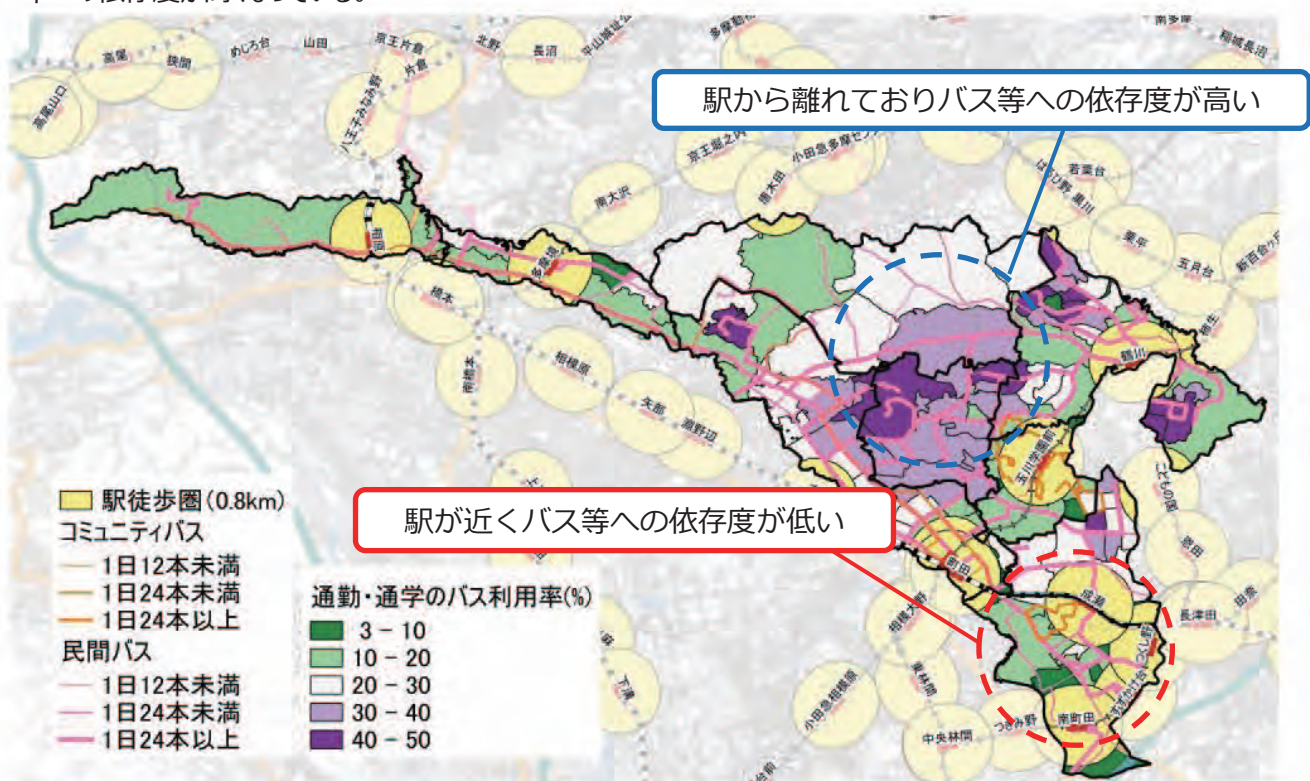
区分	世帯数	割合(%)
① 持ち家	99,987	56.0
② 民営借家	47,262	26.5
③ 公営借家・社宅など	31,213	17.5
住宅に住む世帯数	178,462	100.0

[地域別世帯数における住宅の所有形態の割合(%)]

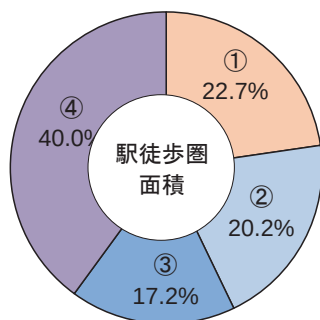


4. 交通の状況

忠生地域、本町田・薬師池地域はほとんどが駅からの徒歩 20 分超となっており、交通手段に占めるバスや自動車への依存度が高くなっている。



駅徒歩圏

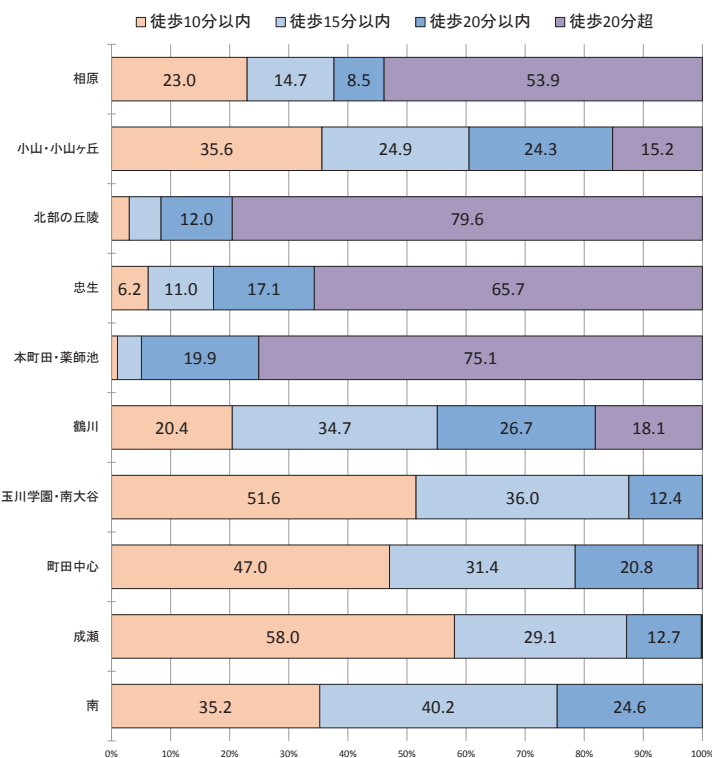


区分	面積	割合(%)
① 徒歩10分以内	16.4	22.7
② 徒歩15分以内	14.5	20.2
③ 徒歩20分以内	12.4	17.2
④ 徒歩20分超	28.8	40.0
駅徒歩圏	72.1	100.0

(参)

コミュニティバス	本数/日
まちっこ(公共施設巡回ルート)	町田駅周辺 12本
まちっこ(相原ルート)	町田～相原 3本(上り)
玉ちゃんバス(北ルート)	玉川学園前 36本
玉ちゃんバス(東ルート)	玉川学園前 36本
玉ちゃんバス(南ルート)	玉川学園前 36本
かわせみ号(成瀬駅ルート)	成瀬駅南側 36本

[地域面積における鉄道駅徒歩圏の割合(%)] (80mを徒歩1分で換算)

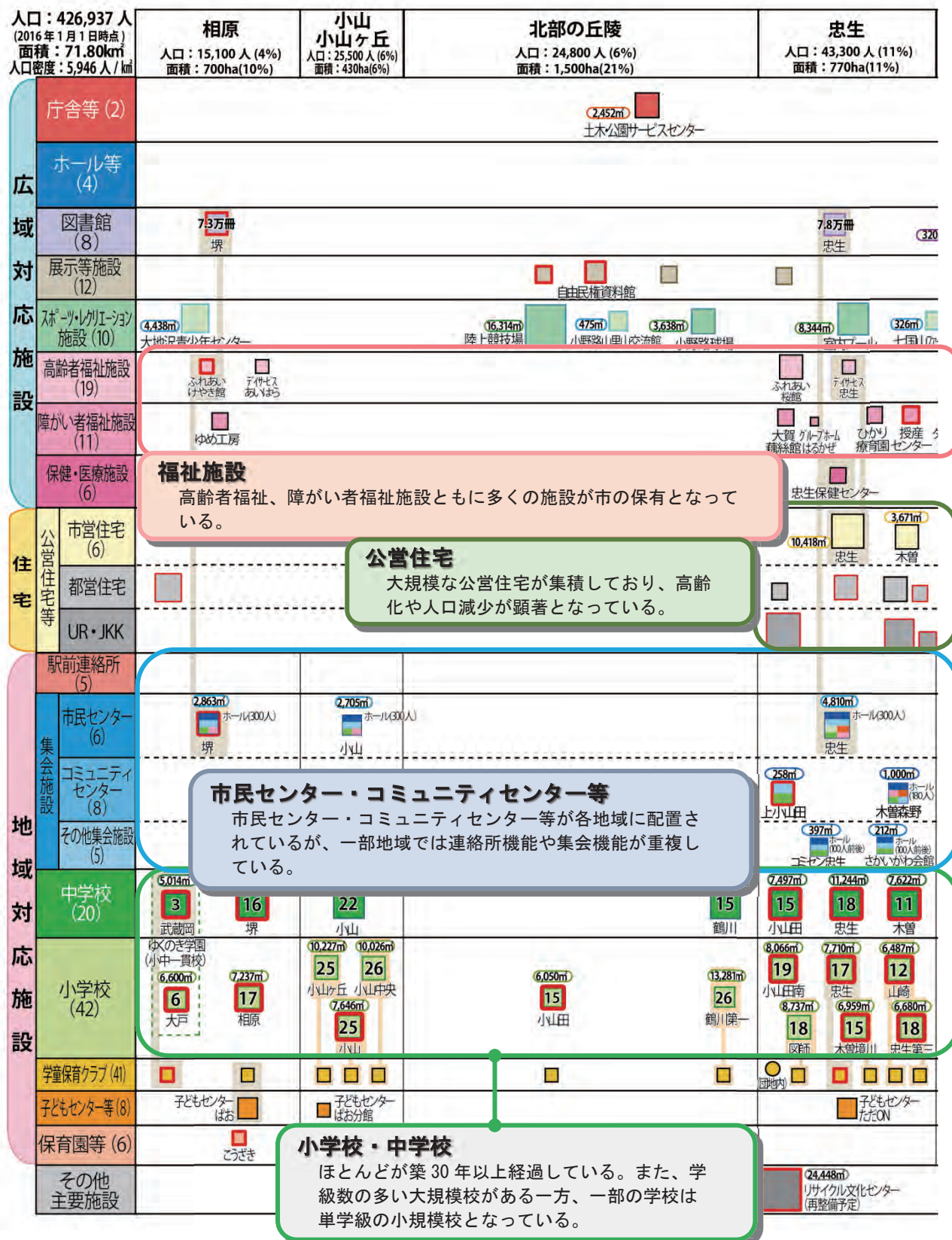


- ✓ 市の南部は駅が近接していることもあり、バス等への依存度は低い傾向にあるが、本町田・薬師池をはじめとした市の中央部などでは、バス等への依存度が高く、暮らしに必要な公共サービスの配置が求められるほか、広域的サービスについてはバス路線を考慮した配置が考えられる。

5. 公共施設の配置状況

市の主な公共施設について、地域と機能毎に分類し、配置状況を整理した。

広域的なサービスを提供する施設は、町田中心地域に集積している一方で、連絡所や図書館機能と複合化した市民センターやコミュニティセンターなどの集会機能を保有する施設が各地域に配置されている。また、築 30 年以上の学校が市内に多く配置されており、対応が必要となる。



※施設面積などは 2016 年時点
地域の列幅は面積比で作成

広域対応施設

市庁舎や市民ホール、市民病院といった大規模な広域対応施設の多くが町田中心地域に配置されており、各地域からのアクセスの確保が必要となる。

<凡例>

赤枠は 築30年以上

23 <学校>
学級数
(2016年5月1日時点の普通学級数)

＜集会系施設＞

※部屋機能を示す

ホール等
体育室等
和室等
美術・工芸室等

会議室等
音楽室・
スタジオ等
調理室

本町田 薬師池 人口：56,900人(14%) 面積：700ha(10%)	鶴川 人口：73,200人(18%) 面積：1,040ha(15%)	玉川学園 南大谷 人口：30,100人(7%) 面積：390ha(6%)	町田中心 人口：28,800人(7%) 面積：270ha(4%)	成瀬 人口：44,800人(11%) 面積：490ha(7%)	南 人口：69,400人(17%) 面積：770ha(11%)	市外
45,789m² 本庁舎		6,651m² 本庁舎		4,134m² 本庁舎		
ホール(300席) 鶴川緑の交流館		ホール(68人) 生涯学習センター ホール(862席) 市民ホール ホール(200人超) プラザ町田文化交流センター				
6.1万冊 木曽山崎		13.3万冊 さるびあ 中央 57.8万冊 さるびあ 中央		13.2万冊 金森		
260m² 鶴川 9.1万冊 鶴川駅前		1,318m² さるびあ 中央 5,968m² さるびあ 中央		1,500m² 金森		
市立博物館		国際版画美術館 ことばらんど				
2,349m² 複合施設		7,966m² サンプラザ 町田市民体育館 24,477m² 総合体育館				
カーニバル 青少年施設 けがた村		サンプラザ 町田市民体育館 総合体育館				
ふれあい くぬぎ館 本町田 在宅 サービス 棟名坂 ふれあい いちよう館 サービス 鶴川 サービス 三輪		玉川学園 在宅 サービス 南大谷 サービス 森野 サービス もつこ館 サービス 高坂 サービス 会館 保健所 中町庁舎 旧看護 健康福祉 専門学校 会館		ふれあい もみん館 つし野 サービスセンター わさびだ 療育園		
タリファ園 ころもみ 木曽福祉 農園 サービスセンター リス園		せなかや 会館				
鶴川保健センター		市民病院 旧看護 健康福祉 専門学校 会館 保健所 中町庁舎				
2,084m² 本町田 7,516m² 真光寺		4,038m² 森野		8,923m² 金森		
木曽山崎		玉川学園駅前 町田駅前		南町田駅前		
ホール(350人) 鶴川		ホール(100人) 市民フォーラム ホール(88人) 成瀬		ホール(300人) 南		
2,105m² ホール(300人) 木曽山崎		595m² ホール(100人) 市民フォーラム 4,465m² ホール(88人) 成瀬		2,077m² ホール(70人) なるせ駅前		
95m² やまびき会館		802m² ホール(200人) 成瀬		1,003m² ホール(80人) つし野		
313m² ホール(100前後) 鶴川はるびあ会館		1,503m² ホール(82人) 三輪		173m² 小川		
8,077m² 11 山崎 6,313m² 12 町田第三 7,379m² 12 薬師		7,806m² 15 町田第二 南大谷 7,460m² 12 町田第二 南大谷 11,761m² 21 町田第一		9,491m² 12 成瀬台 7,899m² 17 南成瀬		
7,435m² 22 七国山 6,758m² 9 本町田東 7,061m² 18 藤の台		6,374m² 17 町田第五 6,438m² 20 南大谷 6,815m² 19 町田第一		7,609m² 21 成瀬台 9,999m² 9 成瀬中央 7,204m² 12 南成瀬		
7,029m² 13 本町田 6,203m² 16 町田第三		6,716m² 11 町田第六 6,800m² 18 町田第四 5,416m² 12 町田第二		7,055m² 17 南第一 6,407m² 17 南第二 5,141m² 12 南第三		
7,644m² 24 大蔵 8,180m² 18 鶴川第三 6,109m² 18 三輪		6,716m² 11 町田第六 6,800m² 18 町田第四 5,416m² 12 町田第二		7,055m² 17 南第一 6,407m² 17 南第二 5,141m² 12 南第三		
山崎 大蔵		南大谷 町田		南 つし野		
28,155m² 鶴見川グリーンセンター		6,549m² タミカルプラザ		46,906m² 成瀬グリーンセンター		

1. 町田市公共施設再編計画策定検討委員会

役職	氏名	所属・職務名（委員委嘱時点）
委員長	市川 宏雄	明治大学公共政策大学院ガバナンス研究科長 町田市未来づくり研究所長
副委員長	山重 慎二	一橋大学経済学研究科 国際・公共政策大学院教授
委員	神山 和美	独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事
委員	前島 正光	NPO 法人顧問建築家機構代表理事
委員	岩崎 俊男	町田市町内会・自治会連合会 副会長
委員	大塚 信彰	町田商工会議所 副会頭
委員	小林 祐士	一般社団法人町田青年会議所 理事長
委員	通地 康弘	町田市立中学校 PTA 連合会 会長
委員	大倉 博志	成瀬コミュニティセンター運営委員会 委員長
委員	増山 正子	市民委員
委員	吉田 努	市民委員（～2017.2）
委員	長谷川 隆	市民委員（2017.4～）

2. 町田市公共施設再編計画策定庁内検討委員会

役職	職務名
委員長	政策経営部担当副市長
副委員長	教育長 委員長以外の副市長
委員	政策経営部長、経営改革室長、総務部長、財務部長、営繕担当部長 防災安全部長（2017.4～）、市民部長、文化スポーツ振興部長 地域福祉部長、いきいき生活部長、保健所長、子ども生活部長 経済観光部長、環境資源部長、建設部長（～2017.3） 道路部長（2017.4～）、都市づくり部長、下水道部長、 学校教育部、生涯学習部、市民病院事務部長

3. 計画策定の経過

		主な取り組み	検討 委員会	庁内 委員会
2016 年	3 月	・『町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）』策 定		
	4 月	・『(仮称)町田市公共施設再編計画』策定に着手		
	10 月	・町田市公共施設再編計画策定庁内検討委員会設置		第 1 回
	11 月	・町田市公共施設再編計画策定検討委員会設置 ・公共施設利用者アンケート(窓口配付 2,400 枚)実施 (～12 月中旬)	第 1 回	第 2 回
2017 年	1 月		第 2 回	第 3 回
	2 月		第 3 回	第 4 回
	3 月	・町田市議会へ行政報告		
	4 月		第 4 回	第 5 回 第 6 回
	5 月		第 5 回	
	6 月	・「広報まちだ」1・2 面で特集記事掲載 ・「これからの公共施設のあり方について」市民意見募集 (～7 月中旬) ・「町田市 これからの公共施設のあり方について」市民アン ケート調査実施 ※無作為抽出 3,000 人対象(～7 月中旬) ・「これからの公共施設のあり方について」市民説明会実施 (全 10 回) ・公共施設長寿命化調査(小・中学校等 18 施設) (～7 月下旬) ・町田市議会へ行政報告		
	8 月		第 6 回	第 7 回
	9 月	・町田市議会へ行政報告		
	10 月	・市庁舎パネル展示①「知ってる?? 公共施設再編」	第 7 回	第 8 回
	11 月	・「広報まちだ」にて「みんなでつくる未来の場(かたち)」 定期掲載開始 ・市庁舎パネル展示②「知ってる?? 公共施設再編」	第 8 回	第 9 回
	12 月	・市民協働フェスティバル「まちカフェ!」パネル展示 ・町田市議会へ行政報告		第 10 回
2018 年	1 月	・二十祭まちだ(成人式)にてリーフレット配布	第 9 回	
	2 月		第 10 回	第 11 回

		主な取り組み	検討 委員会	庁内 委員会
2018 年	3 月	・公共施設マネジメント情報紙「ぶらっと」発行 ・広報テレビ「まちテレ」にて「公共施設の未来を考える」放映 ・「町田市公共施設再編計画(素案)」市民意見募集(～4月下旬) ・「町田市公共施設再編計画(素案)」市民説明会実施(全10回) ・町田市議会へ行政報告		
	4 月	・政策経営部企画政策課に公共施設再編担当課長を設置 ・市庁舎パネル展示③「知ってる?? 公共施設再編」		第 12 回
	5 月		第 11 回 第 12 回	第 13 回
	6 月	・町田市公共施設再編計画策定検討委員会から計画推進に向けた「提言書」受領 ・『みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画』策定 ・町田市議会へ行政報告		

検討委員会：町田市公共施設再編計画策定検討委員会

庁内委員会：町田市公共施設再編計画策定庁内検討委員会



町田市公共施設再編計画策定検討委員会の様子（左：第1回 / 右：第12回）



市庁舎パネル展示「知ってる?? 公共施設再編」



市民説明会の様子

4. 委員会からの提言書

再編計画の策定にあたり、町田市公共施設再編計画策定検討委員会から提言をいただきました。

2018年6月4日

町田市長 石 阪 丈 一 様

町田市公共施設再編計画策定検討委員会
委員長 市 川 宏 雄

「町田市公共施設再編計画」の策定にあたって（提言）

町田市公共施設再編計画策定検討委員会では、2016年11月の設置以来、12回にわたり、公共施設の再編に関する議論を行ってきました。町田市公共施設再編計画（以下、再編計画という。）の策定にあたり、下記のとおり提言しますので、今後の市政運営において、十分留意くださるようお願いいたします。

記

1 市民と行政との情報共有を進めること

「みんなでつくる未来の場（かたち）」の実現に向けて、公共施設再編に関する市民の関心を高めるための十分な周知とみんなで考える機会を設けること。また、取組みを進めるためには、建物の維持や運営に係るコストや利用実態などのデータを共有するとともに、より市民の理解が得られるような情報の提供に努め、みんなで議論しやすい状況の創出に努めること。

2 将来を見据えた再編を進めること

市は、これから目指す都市像やまちづくり計画などを市民と共有し、市民生活の変化など将来を見据えた再編を実行すること。

3 官民連携、市民対話による市民主体の課題解決を目指すこと

施設利用者や近隣住民に限らず、将来を担う若年層や自発的に活動をしている人々、民間事業者など、様々な人々のアイデアや提案等を活かし、納税者である市民との対話を段階的に行うこと。また、行政は制約・条件だけでなく、複数の選択肢を提案するなどし、市民が主体的な課題解決に関与し、行動できる環境づくりを目指すこと。

4 着実に施設マネジメントが進められる組織体制を構築すること

公共施設再編の実現には、市民ニーズ、地域資源や特性を取組みの実践につなげることが重要となるため、これらを担う職員の育成に力を入れること。

また、庁内外の調整や自治体間連携を含めた行動により、スピード感をもって着実な取組みが進められる組織体制を構築すること。

5 社会状況の変化に対応できるよう、計画を定期的に検証すること

再編計画は、市の全体最適の観点を常に意識し、中長期的な取組みを前向きに進めるため、社会状況の変化に応じ、第三者の助言を受けるなど、定期的な検証を行い、「より良いかたち」を追求すること。

以上



本計画書及び概要版は町田市公式ホームページに掲載しています。
また、本計画書は市庁舎で販売しています。

みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画

2018 年 6 月発行

発行者 町田市

〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22

印刷 株式会社 芳文社

刊行物番号 18-16